福祉おびつ

第43号
令和２年３月31日発行
小櫃地区社会福祉協議会
TEL/FAX 0439-35-2940
編集：広報委員会

令和元年度事業報告

《小櫃地区卒寿の集い》令和元年12月1日実施

令和元年度は相次ぐ台風や豪雨災害に見舞われ、10月に予定していた敬老会が開催出来ませんでした。楽しみにしていた皆さんには、大変申し訳ありませんでした。敬老会の中止に伴い、 例年のように90歳の卒寿をお迎えの皆さんを祝い、記念品をお渡しすることができませんでしたので、「卒寿の集い」と名付けたお祝い会を別途企画いたしました。案内を差し上げたところ９名の方にお越しいただき、お弁当にお茶とお菓子のささやかな集いでしたが、和やかなひと時を楽しんでいただきました。

集いに出席された卒寿をお迎えの皆様

長寿の秘訣をお聞きしました

【市原喜一さん】
50を過ぎてからゴルフを始め、今は雨でも毎日歩いている。毎年家族旅行に一緒に行くし、楽しみいっぱいで過ごしています。

【小平愛子さん】
身体と頭を使うゲートボールが大好きです。グランドゴルフも多い時は月に６回もあって、毎回記録係が私の役目です。

【田村作子さん】
シニアクラブの作品展に短歌を投稿しています。新聞は毎日欠かさず読みます。

【齊藤きよ子さん】
畑仕事は今も現役、今年も「ささぎ」を一斗も穫ったよ。週２回のカラオケが楽しみです。

【鈴木忠利さん】
参加者全員に自作の和コマと竹とんぼのプレゼントがあり、得意の詩吟もご披露されました。

【森　正一さん】
趣味はパチンコ、これだけは止められないね。

最後は皆さん一同に『ここまで来たら100歳まで生きようや』と声を掛け合っておられました。

今年度の敬老会は10月4日(日)に開催する予定です。皆さん誘い合ってお出かけください。

《男の料理教室》

地域にお住まいの男性高齢者を対象に、包丁研ぎから始め、料理の基本を学ぶとともに、同年代の方々との交流も目的にした料理教室を、公民館の調理室を借りて年に数回開催しています。

普段は台所に立つ機会の少ない男性ですが、回数を重ねるにつれて、包丁さばきや料理の腕前も上達しています。

講師は地元の女性福祉役員にお願いして、旬となる食材や、地元産の新鮮な野菜など地産地消も考えながら開催しています。

グループ毎に完成した料理は、参加者皆で色々批評しながら美味しくいただきます。

参加してみようとお考えの方は、社会福祉協議会事務所までご一報ください。案内書を送らせて頂きます。

《マンパワー養成事業》 令和元年11月22日（金）実施

小櫃小学校４年生の児童27名が、視覚障害のある方の講話を聴き、車椅子やアイマスクを付けての体験などの福祉体験学習を行いました。子どもたちの障害への理解を深め、福祉意識の啓発につなげています。

この行事に地区社会福祉協議会の役員も参加し、体験学習を支援しました。

《安否確認事業・ふれあいコール/友愛訪問》

在宅で一人暮らしの高齢な方の安否を確認するために、毎月電話でお話ししています。定期的にかかってくる電話を、楽しみに待ってくれている方もおります。

又、年の瀬には75歳以上の一人暮らし高齢者や、80歳以上の高齢者世帯を担当の理事が訪問し、お話ししています。

《バスハイク》 平成30年5月17日（木）実施

75歳以上の一人でお暮しの高齢者をバスハイクにお連れして、交流や親睦を図る事業です。今年度は南房総を訪ね、道の駅や崖の観音、渚の博物館、さかな資料館などを訪ねました。お昼は安くて新鮮な地魚のお寿司をいただき、帰路はカステラのお土産も買って、満足の一日でした。

令和2年度は、秋に行う予定です。
ご参加をお待ちしています。

《小学生のおたより事業》

青少年の活動を支援する事業の一環として、小櫃小学校の４年生に年賀状を書いてもらい、一人暮らしをされている高齢者にお届けしています。子供たちから届いた年賀状に、お年寄りから喜びの声が寄せられています。

《視察・研修》

＊＊＊東部包括支援センター視察＊＊＊

６月24日、高齢者支援施設の中核となっている東部包括支援センターに、視察研修に行きました。高齢者と地域の支援者を繋ぐセンターの役割や、様々な相談に応じるとともに、高齢者の尊厳を守り自立した生活ができることを目的とした支援について学びました。

＊＊＊子ども食堂＊＊＊

２月12日に上総公民館で地域コミュニティーづくりを目的とした、「子ども食堂」を視察しました。お子さん連れの方や、一人暮らしの方がいらしており、よく利用されているようでした。三田にお住いの武田さんが第１・第３水曜日に「孤食」が無いよう、子どもや一人暮らしの方がみんなでにぎやかに食べてほしい、と始められたそうです。「是非小櫃からも来てほしい」とおっしゃっていました。

《公民館に活動紹介を掲示》

小櫃公民館で開催予定だった文化祭が中止になったため、小櫃地区社会福祉協議会では、文化祭に向け準備した前年度の活動内容を、写真に整理したパネル展示を行いました。

お知らせ

【福祉事業功労者表彰】

令和２年１月30日（木）に君津市民文化ホールに於いて、君津市社会福祉大会が開催されました。式典において、永年当地区の福祉活動の推進と発展にご功労のあった、有原頼子さん、齊藤はる代さん、高野洋子さんが表彰されました。10年以上の永きに亘るご奉仕に感謝申し上げます。

【寄　付】

令和元年度小櫃地区自治会連絡協議会（木村好克会長）様よりご寄付いただきました。お寄せいただきました浄財は、本会の貴重な財源として有効に使わせて頂きます。有難うございました。

【令和2年度主要事業】

事　業　名	開催時期	事　業　名	開催時期
役員研修	通年	敬老会	10月
青少年活動支援事業	7月、9月、12月	見守り訪問	7月、12月、2月
広報誌の発行	4月、10月	友愛訪問	12月
ふれあいコール安否確認	通年	男の料理教室	年3回
バスハイク	10月	にこにこサロン	年6回

又、当地区では君津市地域福祉活動計画のもとに、５年計画で「地域ぐるみでボランティア活動の輪を広めよう」を重点目標に掲げ、地域の様々な団体や組織が活動の輪を広め、互いに支えあいや助け合いの心を持ち、ボランティア活動や地域活動に、連携して取り組んでいきます。

【賀恵渕シニアクラブ再結成】

賀恵渕区では、10年近く解散状態でしたが、この度、本忠瑞穂会長のもと会員52名で再結成の運びとなり、令和２年２月に設立総会を終えました。きっかけは、賀恵渕の自然薯づくりの仲間で話が纏まり、地域の人達が集う場を作ろうと進められました。60歳以上の方を対象に、嗜好に応じた多様な事業を展開する予定でいます。

【里の家・日本赤十字奉仕団】

赤十字奉仕団の方による高齢者支援が第１・第３火曜日に小櫃公民館で行われています。75歳以上のご自分で来られる方を対象に、10：00～15：30までお過ごしいただいています。小糸公民館でも第２・第４火曜日に行われています。

この活動は、ご高齢の方に「郷（実家）に帰った時のようにゆったりとした気持ちで過ごしてほしい」という願いから、18年前から続けられています。

奉仕団の方とボランティアスタッフで運営され、地域の方と共に行う活動として、赤十字国際連盟の冊子にモデルケースとして紹介されました。

※小櫃地区社会福祉協議会の事業は、君津市社会福祉協議会からの助成金を主な財源としております。